

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	BRCA 病的変異があるホルモン受容体陽性 HER2 陰性転移再発乳癌患者でのホルモン治療±分子標的薬治療の検討
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで 2018 年 8 月～2022 年 8 月に BRCAAnalysis を受け、BRCA 病的バリエーションが確認された HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌患者さんのうち、当施設で、その後ホルモン治療±分子標的薬を受けた患者さんを対象とします。
	研究目的	ホルモン受容体(HR)陽性 HER2 陰性転移再発乳癌では、ホルモン治療 + CDK4/6 阻害薬が一次、もしくは二次ホルモン治療において標準的に使用されるようになった。しかしながら、生殖細胞系列における BRCA 病的変異陽性患者においては、変異のない患者と比較し、これらホルモン治療±分子標的薬の有効性が乏しいとの報告がある。BRCA 病的変異のある患者では、現在 PARP 阻害薬が使用可能であるが、CDK4/6 阻害薬と PARP 阻害薬のどちらを優先するべきかに関するエビデンスはない。神奈川県立がんセンターでの、BRCA 病的変異陽性 HR 陽性 HER2 陰性乳癌に対するホルモン治療±分子標的薬の治療成績に関して調査した
	研究方法	電子カルテに記載されている情報を元に、これまでの治療歴等を含め、当該治療による治療効果・副作用について検討した。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 26 日～西暦 2023 年 7 月 30 日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[ ]試料:	[ ]血漿、[ ]血清、[ ]全血、[ ]末梢血から抽出した DNA、 [ ]病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ]尿、[ ]糞便、[ ]唾液、[ ]胸水、[ ]腹水、[ ]脳脊髄液、 [ ]毛髪、[ ]その他(具体的に記載: _____)
	[x]情報:	[x]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[x]年齢、[x]性別、 [x]既往歴、[x]併存疾患、[ ]外来日・入院日・退院日、[x]臨床検査値、 [x]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [x]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[ ]看護記録 [ ]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者	乳腺外科・山中隆司
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・乳腺外科・山中隆司・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023 年 6 月 28 日までをお願いいたします	